

本当の電子「手帳」が欲しい

ふちんかん

勤め始めた頃……20年前くらい前ですか、システム手帳がはやった頃ですね。ご多分に漏れず革製の立派なホルダーを買い、情報管理をする努力をしていましたよ。週間予定、月間予定、覚え書き用の無地・方眼、住所録、様々なリフィルを買ったり、当時としては珍しくページプリンタを持っていたもんで印刷してリフィル用パンチで穴を空けて自作したり……まあ楽しいこともありました。

しかしですね、大した情報でもないのに、紙ってやつが集まるとどんどん厚くなってくる、要らなくなったものは捨てれば良いんですが、また使うかもしれない情報というのがやっかいです。捨てるリフィルを選ぶという作業そのものも面倒くさいです。でも一冊の手帳では収まらなくなる。すると目的別に手帳を分けるわけですが、今度は持ち歩きが面倒になったり、どちらにも書かなくてはいけない情報があったり、そんなときに限って片方が無かったり、情報として食い違いが生じたり……手に負えなくなってきました。

で、電子手帳の時代が来るわけですが、私はいじりませんでした。とっさのメモを取るとか、スケッチや図形とともにアイデアを記録するとか……どう考えても当時の電子手帳はリアルタイムに必要な情報を取るようにはできていなかったからです。後になってpalmを使いましたが、これは上記の電子手帳に比べると悪くなかったです。ただ日本語入力という点で英語圏の人が使用する場合に比べてワテンポ遅れること、解像度が低いことなど、惜しい、あと一歩！という感じでしたね。

そしてコンピュータ、特にタブレットPCへの期待という形になります。Windowsの『OneNote』というソフトがほぼ私の期待する「手帳」機能を果たしてくれます。しかし残念ながらOneNoteを入れて持ち運ぶPCが未だに存在しません。以前NECのVF11YというタブレットPCを2・3年使っていました。さすがにハード的にWindowsXPが限界で今は使っていません。

意識しないで持ち運べる重さ、大きさと、せめて一日は安心して使える電源環境と、メモを取るために必要な解像度やシステムのスピードというものが完全に合致するハードが見あたりません。現在この目的に一番近いところにいるのはiPadで、実際にここ半年はiPadでメモを取っています。しかし当然Windowsではないので、『OneNote』は使えない。iOS用の『OneNote』がリリースされたときは驚喜しましたが、『OneNote』のサブセットとも言えないできの悪いソフトでした。

今、大きくて重くて電源環境が最悪で（特殊形態であるACアダプタの別売りすらない）けど、高機能・高解像度のASUSのEP121というタブレットPCで『OneNote』を使っています。が、iPadとの二重手帳はしんどいです……。とりあえずHPのSlate2はポチってますが、2012年度中に使える電子「手帳」になるハードウェアは世に出てるのでしょうか。